

# ～ 溝上慎一 と大学教育について考える ～ 「教学マネジメント」実践事例セミナー 第3回

学修成果の可視化における卒業生調査結果の活用  
～卒業生調査結果から見た、社会に出てから感じる大学教育の成果とは～

(主催) 溝上研究室・リアセックキャリア総合研究所

日時 2022年11月4日(金) 16:30～18:00 定員 500名  
※申込先着順

開催方法 オンライン配信 (Zoomウェビナー) 参加対象 大学・短期大学等 教職員  
高校・高等専門学校 参加費 無料

## セミナー企画趣旨・主催者ご挨拶

ご好評につき、第3回「教学マネジメント」実践事例セミナーの開催に至りました。前回のセミナーにご参加いただいた方のアンケート回答で、関心が多く寄せられた『卒業生調査』をテーマとして、京都女子大学より事例発表いただきます。

近年、『卒業生調査』は学修成果の可視化や教学改革への活用が期待されているものの、『調査結果をどう教学改善に活用するか』、『どのように回収率を上げていくか』等、模索中の大学も多いことと思います。

本セミナーにおける具体的な実践事例の発表と有識者との意見交換の場を通じて、各大学・短期大学等における教学マネジメントの在り方を考え、今後の高等教育の在り方についての示唆を提供する場となれば、主催者として嬉しく思います。



学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授  
溝上 慎一 氏

## ▼当日のタイムスケジュール・主な内容

- 16:30～16:40(10分) 開会・溝上慎一によるオープニングセッション
- 16:40～17:10(30分) 事例発表(京都女子大学)
- 17:10～17:40(30分) 溝上慎一による事例発表への講評・質疑応答
- 17:40～17:50(10分) 溝上慎一による解説・まとめ(クロージング)
- 17:50～18:00(10分) リアセックキャリア総合研究所からのお知らせ

### ■卒業生調査から見た成果と課題

- ・調査概要(調査目的、対象年度、回収率等)
- ・学修成果の可視化、アセスメントの考え方(入学時調査から卒業生調査まで)
- ・卒業生調査結果をどのように捉え、活用していくか

### ■教学マネジメントを進めていく上での工夫

- ・教職協働の組織とコミュニケーションの機会作り
- ・持続可能かつ恒常的に取り組める仕組み作り

## 事例発表者



京都女子大学  
大学運営本部  
大学改革推進室 係長  
田中 貴久 氏

## ▼お申し込み方法

■下記URL、またはQRコードからアクセスの上、専用フォームからお申込みください。

<https://bit.ly/3VkJDfaQ>



「教学マネジメント」実践事例セミナーに関するお問合せ先  
株式会社リアセック [info@riasec.co.jp](mailto:info@riasec.co.jp)

